

# 治験管理センターだより

第17号

島根大学医学部附属病院治験管理センター発行(2007.7)

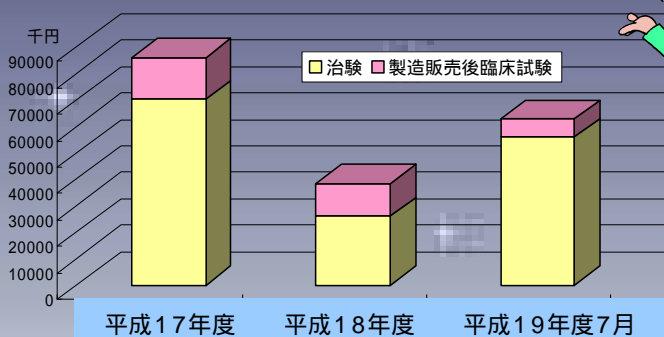


## 診療科情報を更新しました

治験管理センターHPの「受け入れ・実施可能な治験の疾患領域・分野」をこのほど更新しました。この情報は随時更新しますので、各診療科で治験実施が可能な新たな疾患領域がありましたら、治験管理センターへお知らせ下さい。

## 19年度・7月現在の新規治験の契約状況速報

今年度は7月現在、9件の治験の新規契約が終了しており、契約金額もすでに前年度を突破しました。



アルツハイマー型認知症  
潰瘍性大腸炎  
脳梗塞再発予防  
骨粗鬆症  
小児の急性細菌性中耳炎  
逆流性食道炎  
帯状疱疹後神経痛  
慢性非癌性疼痛  
非弁膜性心房細動

などの治験にご参加いただける被験者様を募集中です。詳しくは治験管理センターホームページをご参照下さい。

よろしく…



## 新人看護師CRCを紹介します

この撮影のためにエステに行ってきましたよ!



内藤佐恵子と申します。病棟や外来、手術室での看護の経験を生かしながら被験者さまのサポートが出来る事を嬉しく思っています。先生方や治験依頼者さまにご指導頂きながら頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## 治験の豆知識

### 【創薬ボランティア】

化学物質として薬を創る段階から、治験という臨床試験の段階を経て有効性と安全性が確認され厚生労働省から製造販売が承認されると、患者の手元まで薬が届くことになり、医薬品としての本来の目的に広く使えるようになります。ここまでの段階を「創薬」といいます。創薬のために被験者として参加する患者または健常者を「創薬ボランティア」と呼びます。自発的な意思に基づいて被験者として参加する、という意味と、必ずしも自分のためにならなくても次の世代のために参加する、という二重の意味の「ボランティア」ということになります。このように患者を含む一般の方々の理解と協力により生まれる「創薬ボランティア」の存在があってはじめて新しい医薬品が誕生する事になります。当センターでは創薬ボランティアの方々へのメリットを考慮して、院内をCRCが同行し、採血や診察の待ち時間の短縮を行っています。ご理解の上、ご協力の程宜しくお願いいたします。

